



証券コード 5020

2021年8月13日

ENEOSホールディングス 2021年度 第1四半期決算説明資料

常務執行役員 田中 聡一郎



ENEOSホールディングス株式会社

目次

決算ハイライト・事業環境

P 2

第1四半期決算 概況

P 6

参考情報

P 15

決算ハイライト・事業環境

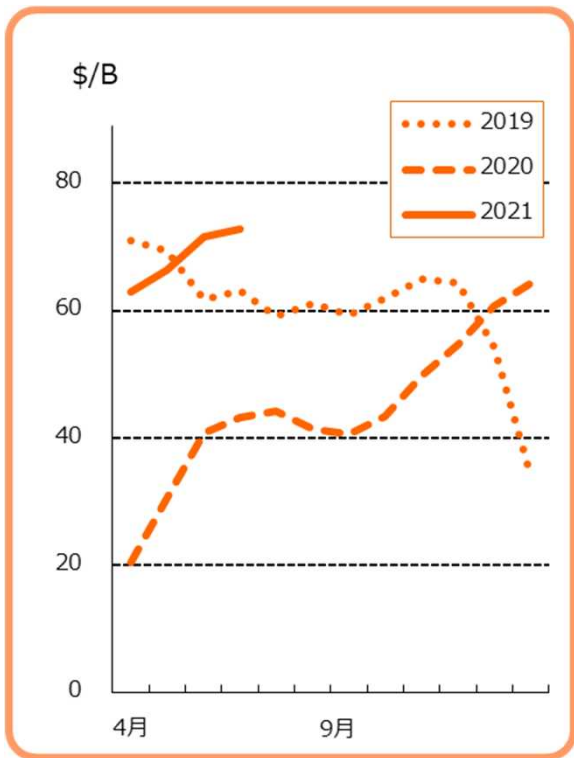
第1四半期：在庫影響除き営業利益 745億円（前年同期比▲87億円）

- 資源価格の上昇などにより石油・天然ガス開発、金属セグメントが増益
- 国内石油製品・輸出マージン悪化などによりエネルギーセグメントが減益

2021年度 第1四半期実績

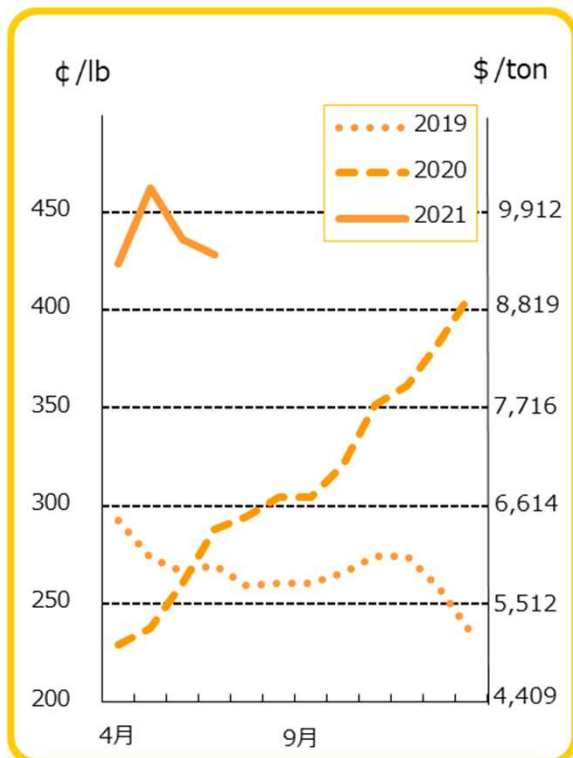
諸元	前年同期		実績	差異	通期見通し (5月公表)
ドバイ原油 (\$/B)	31	→	67	+36	60
銅 (LME) (¢/lb)	242	→	440	+198	340
為替レート (¥/\$)	108	→	109	+1	105
営業利益	210	→	1,620	+1,410	2,300
在庫影響除き 営業利益	832	→	745	▲87	
エネルギー	438	→	75	▲363	
石油・天然ガス開発	7	→	153	+146	
金属	192	→	408	+216	
その他	195	→	109	▲86	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	▲49	→	976	+1,025	

ドバイ原油価格



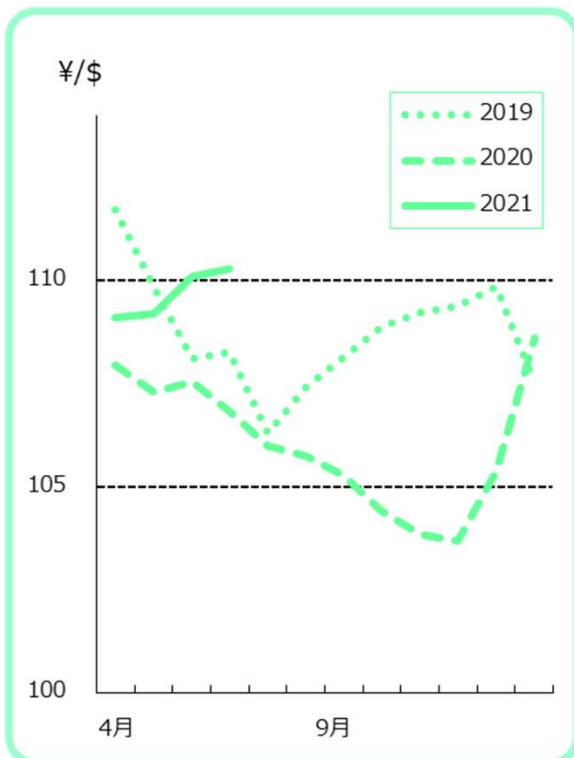
➤ 新型コロナウイルスのワクチン接種進展による景気回復期待により上昇

銅 (LME) 価格



➤ 各国経済対策による景気回復や中国の銅需要への拡大期待等から高水準で推移

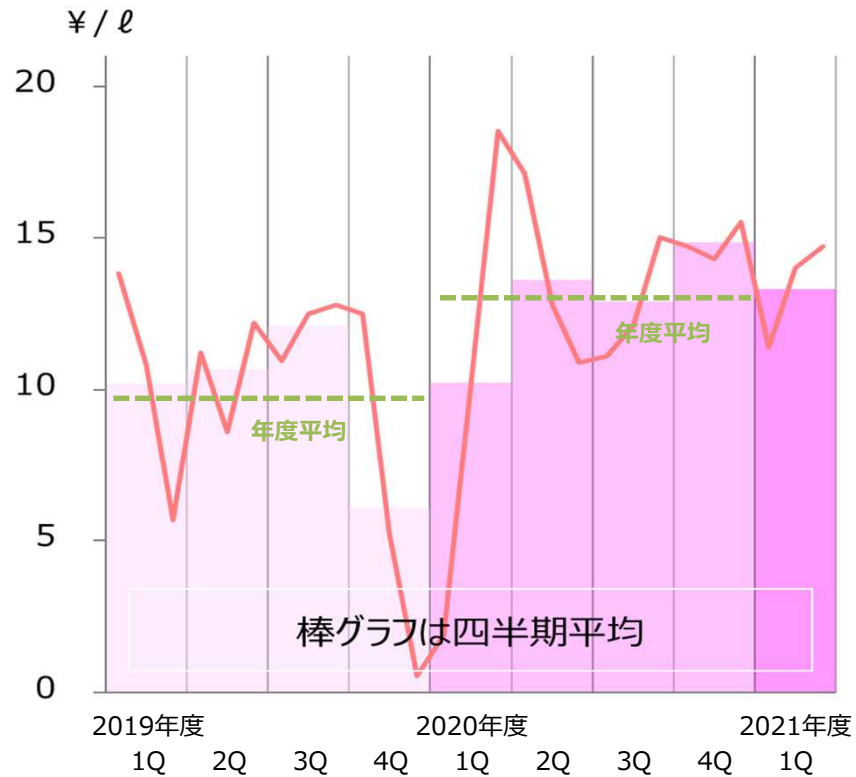
為替レート



➤ 年明け以降、円安基調で推移 6月には110円/ドル台に到達

白油4品・パラキシレンマーゼン指標

白油4品マーゼン指標 *1

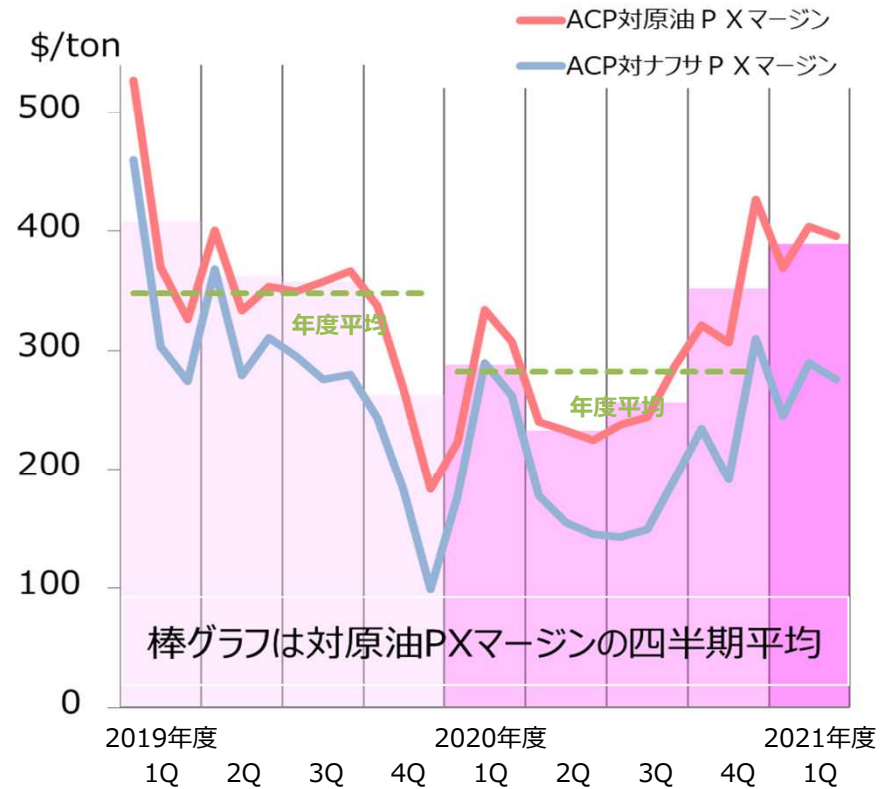


➤ 前年度4Q対比ではやや下落するも、油価上昇に伴うタイムラグを主因に引き続き堅調

*1 国内市況の参考値として、以下の計算式により算出
 スポット価格 - 全国通関原油CIF (石油税・金利含み)

※当社のマーゼン (当社売価 - 当社コスト) とは異なります

パラキシレンマーゼン指標 *2



➤ パラキシレンの誘導品であるPTAの生産装置新規稼働に伴い、需給がタイト化し上昇基調

*2 アジア市況の参考値として、以下の計算式により算出
 ACP (Asian Contract Price) - 原油価格またはナフサ価格
未決の月はスポット価格の平均値を使用

※当社のマーゼン (当社売価 - 当社コスト) とは異なります

第1四半期決算概況

(2021年4月1日～2021年6月30日)

決算概要（前年同期比）

		2020年度 1 Q (実績)	2021年度 1 Q (実績)	差異	
■ 諸元					
ドバイ原油	(\$/B)	31	67	+36	+116%
銅 (LME)	(¢/lb)	242	440	+198	+82%
為替レート	(¥/\$)	108	109	+1	+1%

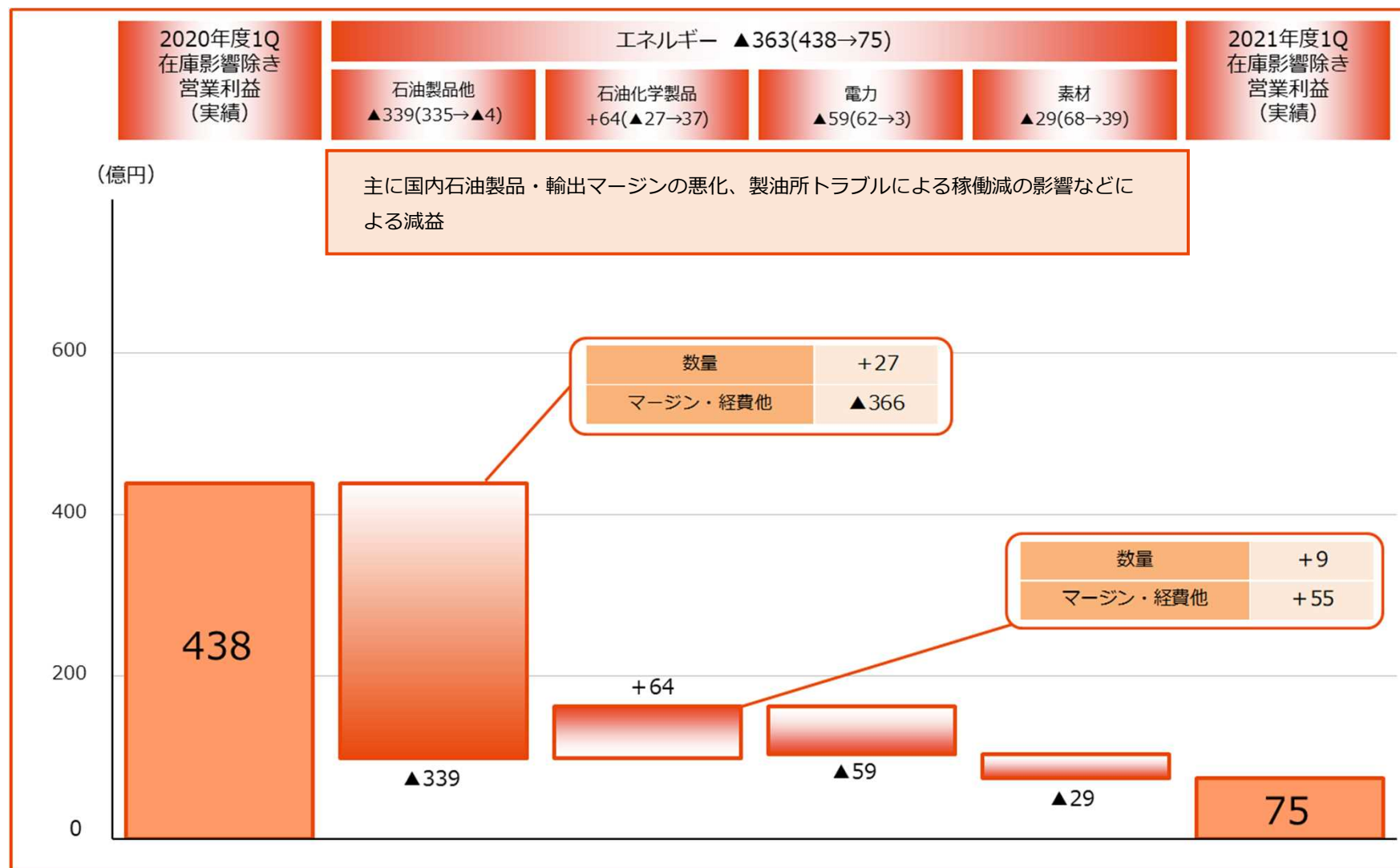
■ 損益計算書

売上高	(億円)	15,462	22,241	+6,779	+44%
営業利益	(億円)	210	1,620	+1,410	+670%
在庫影響	(億円)	▲ 622	875	+1,497	-
在庫影響除き営業利益	(億円)	832	745	▲87	▲10%
当期利益	(億円)	35	1,102	+1,067	+3082%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	(億円)	▲ 49	976	+1,025	-

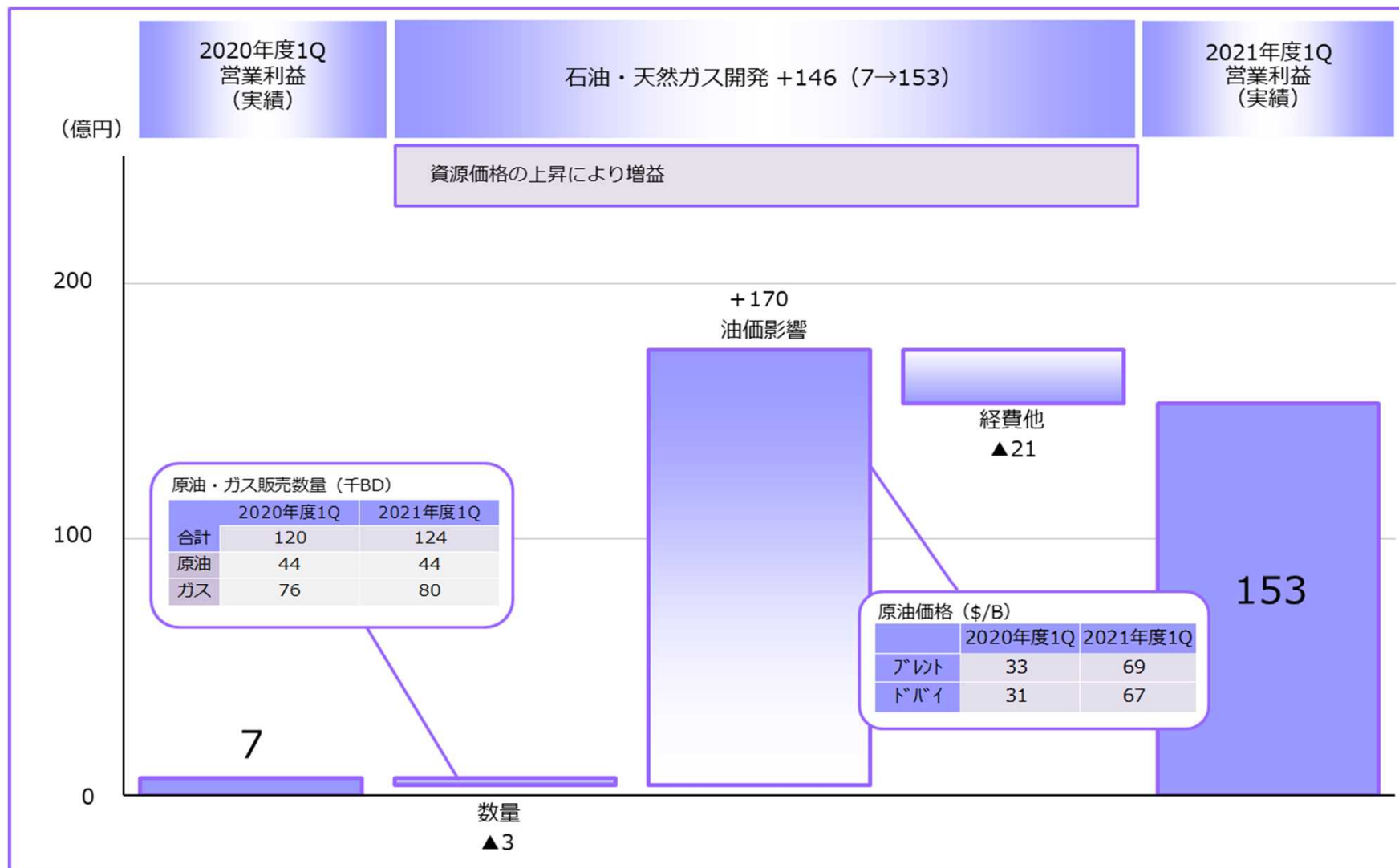
セグメント別営業利益（前年同期比）

(億円)		2020年度 1 Q	2021年度 1 Q	差異	
		(実績)	(実績)		
営業利益 計		210	1,620	1,410	+670%
在庫影響除き営業利益 計		832	745	▲87	▲10%
セグメント別内訳	エネルギー事業	▲184	950	+1,134	-
	在庫影響	▲622	875	+1,497	-
	在庫影響除き営業利益	438	75	▲363	▲83%
	石油製品他	335	▲4	▲339	-
	石油化学製品	▲27	37	+64	-
	電力	62	3	▲59	▲95%
	素材	68	39	▲29	▲43%
	石油・天然ガス開発事業	7	153	+146	+2068%
	金属事業	192	408	+216	+112%
	機能材料・薄膜材料他	85	137	+52	+61%
	資源	70	153	+83	+119%
	製錬・リサイクル	68	86	+18	+26%
	事業共通費用等	▲31	32	+63	-
	その他	195	109	▲86	▲44%

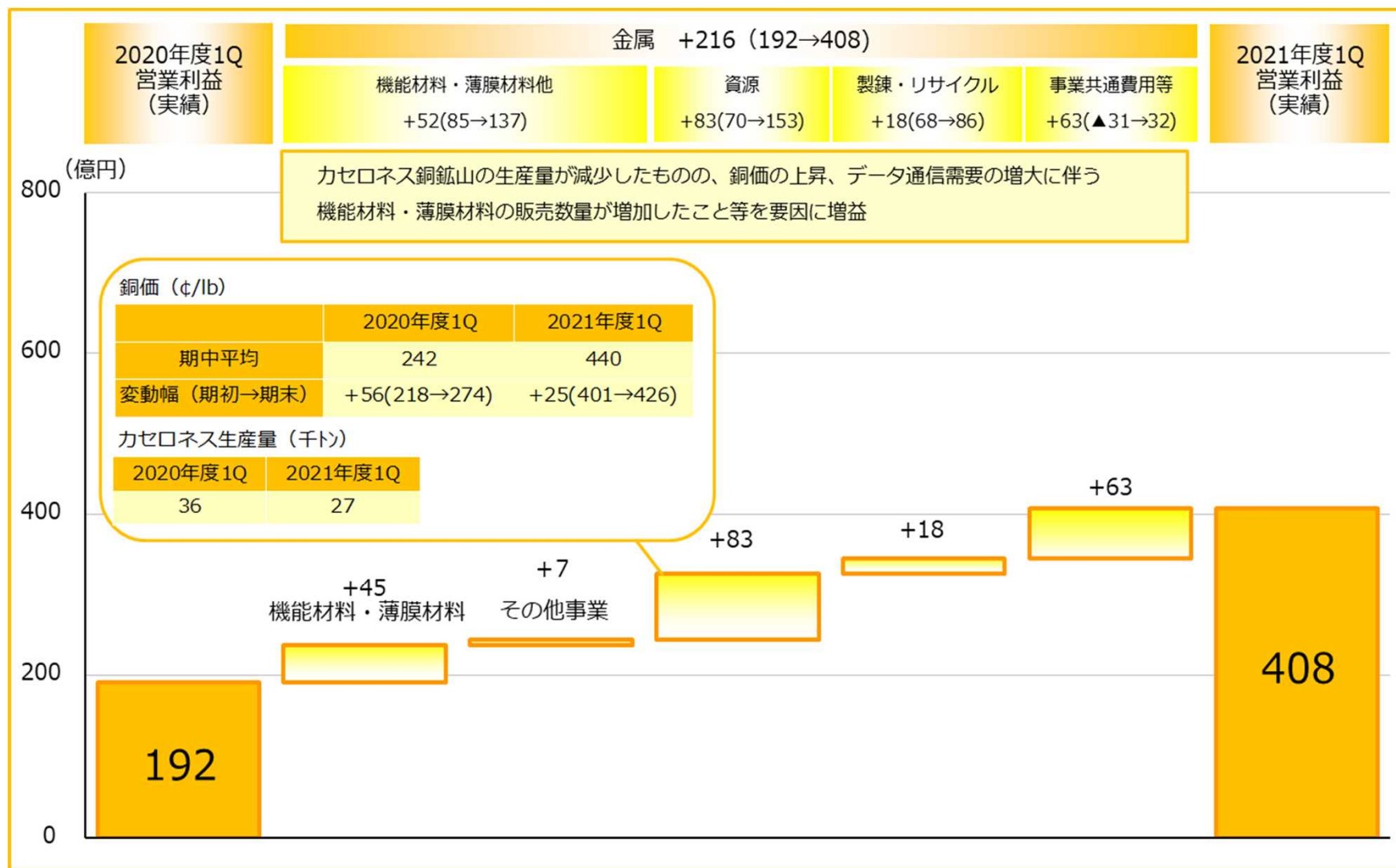
エネルギー事業 営業利益増減（前年同期比）



石油・天然ガス開発事業 営業利益増減（前年同期比）

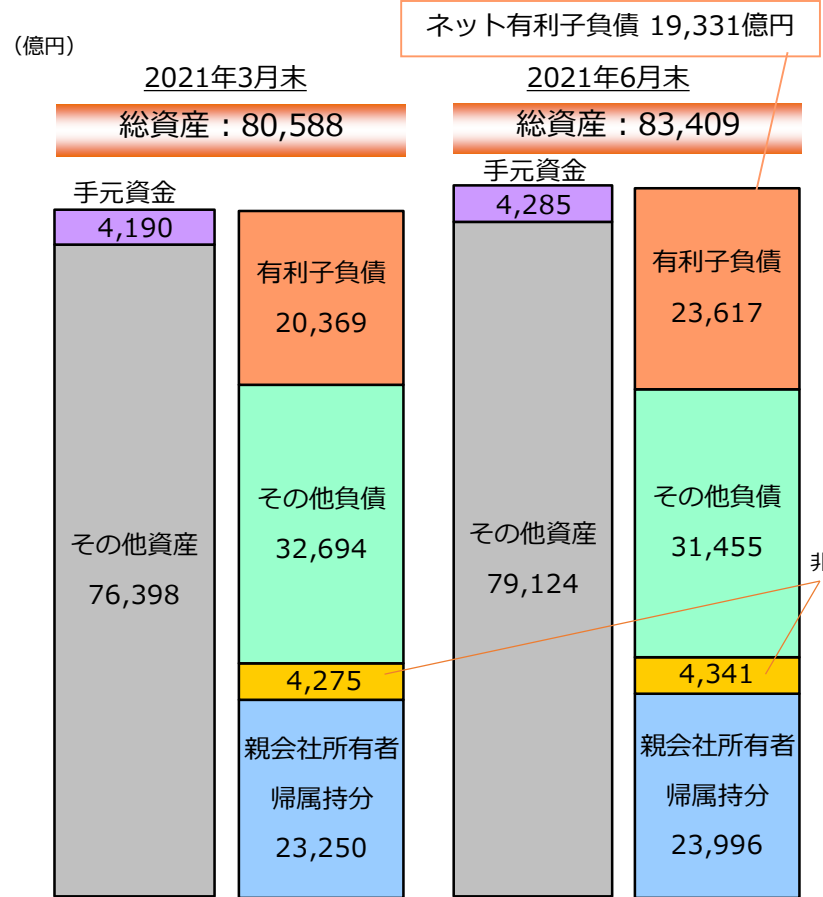


金属事業 営業利益増減 (前年同期比)



連結バランスシート / 連結キャッシュフロー

連結バランスシート



	2021年3月末	2021年6月末
親会社所有者帰属持分比率	28.9%	28.8%
ネットD/Eレシオ (資本合計ベース)	0.59	0.68

ハイブリッド社債 資本性調整後：0.60
(3,000億円の50%を資本算入)

連結キャッシュフロー

(億円)

	2021年度 1Q	IFRS第16号 「リース」適用除き
営業利益 (在庫影響除き)	745	745
減価償却費	816	622
運転資金増減 他	▲2,961	▲2,961
営業キャッシュフロー (休日影響除き)	▲1,400 (▲332)	▲1,594 (▲526)
設備投融资	▲832	▲832
その他	▲325	▲325
投資キャッシュフロー	▲1,157	▲1,157
フリーキャッシュフロー (休日影響除き)	▲2,557 (▲1,489)	▲2,751 (▲1,683)
配当 他	▲631	▲437
ネットキャッシュフロー (休日影響除き)	▲3,188 (▲2,120)	▲3,188 (▲2,120)

以下を主因にネットキャッシュフローはマイナス

- ・ 休日影響による揮発油税の納税タイミングの期ズレ
- ・ 資源価格上昇に伴う運転資金の増加
- ・ 製油所トラブルに起因する一時的な在庫の積み上げ

第2次中期経営計画に基づき順調に進捗

石化・素材

- 三菱ケミカル株式会社とプラスチック油化共同事業の開始を決定
- 超高圧・高圧電線絶縁用ポリエチレンの生産能力増強を決定
- JSR株式会社のエラストマー事業の買収を決定
- 次世代高速通信に対応した低誘電LCPパウダー「XYDAR®LF-31P」の販売を開始

再生可能エネルギー・水素

- 国内3か所の遊休地においてメガソーラー発電所の建設を開始
- 兵庫県三田市のメガソーラー発電事業への出資参画を決定
- 当社が参加するコンソーシアムが「海洋再生可能エネルギー発電設備整備促進区域」（長崎県五島市沖）における選定事業者に決定
- BW Ideol社と日本国内における商業規模の浮体式洋上風力発電ファームの共同事業開発契約を締結
- 米国テキサス州においてアドバンスド・パワー社が進める太陽光発電事業への参画を決定
- 豪州クィーンズランド州において大規模太陽光発電事業への参画を決定
- 豪州のネオエン社と日豪間CO2フリー水素サプライチェーン構築に向けた協業検討を開始
- 国内初となる当社製油所の既存装置を活用した有機ハイドライド（MCH）から水素を取り出す（脱水素）実証を開始
- トヨタ自動車株式会社が静岡県裾野市に建設を進めるWoven Cityで水素エネルギー利活用の具体的な検討を開始
- 東京湾岸エリアおよびむつ小川原地区におけるCO2フリー水素サプライチェーン構築に向けた調査事業を実施（NEDOの委託事業として採択）
- 山梨県と東京目黒水素ステーションにおける山梨県産グリーン水素の利用に係る合意書を締結

第2次中期経営計画に基づき順調に進捗

環境対応・新サービス 他

- トランスポーダーズ・エナジー社とオーストラリアの洋上におけるCO2の回収貯留ハブ・プロジェクト「deepC Store」共同スタディ契約を締結
- LiBリサイクルおよび電池材料事業の推進のための欧州新会社設立
- 凸版印刷株式会社と古紙バイオエタノール事業において協業検討を開始
- 静岡市と「静岡市清水区袖師地区を中心とした次世代型エネルギーの推進と地域づくりに係る基本合意書」を締結
- 日本電気株式会社とサービスステーションを中心とした電動車両の充電ネットワーク拡充に向けた協業検討開始
- 当社出資先である北米スタートアップ企業 Ample Inc.と、国内におけるEV向けの蓄電池交換サービスの提供に向けた協業を開始
- ENEOSサービスステーションを販売拠点とした「ENEOSカーリース」の全国展開を開始
- 業界初の取り組みとなるサービスステーションでの新デジタル技術サービスの実証実験を開始
- 株式会社Preferred Networksとの共同出資により設立した株式会社Preferred Computational Chemistryが新物質開発・材料探索を高速化する汎用原子レベルシミュレータ Matlantis™（マトランティス）の提供を開始
- 国内最大規模の人工光型自動化植物工場「テクノファーム成田」の操業を開始
- 上限3,000億円の公募ハイブリッド社債を発行

参考情報

			2020年度		2021年度	
			1Q	通期	1Q	通期
			実績	実績	実績	見通し (5月公表)
共 通	為替レート	(¥/\$)	108	106	109	105
エネルギー	トバイ原油	(\$/B)	31	45	67	60
石油・天然 ガス開発	原油換算販売数量	(千B/日)	120	125	124	121
	ブレント原油	(\$/B)	33	46	69	61
金 属	銅 (LME)	(¢/lb)	242	312	440	340
	銅鉱山権益生産量 [*]	(千トン/年)	51	194	48	223
	PPC銅販売量	(千トン/年)	144	634	148	629
	精密圧延品生産品販売量	(千トン/月)	3.3	3.6	3.9	3.9

*		通 期
	カセロネス / ロス・ペランプレス	4月～3月
	エスコンディーダ	1月～12月

■前提条件（2021年4月以降）

ドバイ原油：60ドル/バーレル 銅（LME）：340セント/ポンド 為替：105円/ドル

2021年4~6月 400セント/ポンド
2021年7月以降 320セント/ポンド

■市況変動による2021年度営業利益への影響額（2021年4月以降）

		(億円)	
項目	変動幅	変動項目	影響額
ドバイ原油	5ドル/バーレル 上昇	エネルギー	(-) 5
		石油・天然ガス開発	(+) 80
		小計	(+) 75
		在庫影響	(+) 365
		合計	(+) 440
銅（LME）	10セント/ポンド 上昇	金属	(+) 50
		合計	(+) 50
為替レート	5円/ドル 円安	エネルギー	(+) 55
		石油・天然ガス開発	(+) 20
		金属	(+) 70
		小計	(+) 145
		在庫影響	(+) 210
		合計	(+) 355

将来見通しに関する注意事項

本資料には、将来見通しに関する記述が含まれていますが、実際の結果は、様々な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。

かかる要因としては、

- (1) マクロ経済の状況またはエネルギー・資源・素材業界における競争環境の変化
- (2) 新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響
- (3) 法律の改正や規制の強化
- (4) 訴訟等のリスク など

が含まれますが、これらに限定されるものではありません。